

「論理・表現Ⅱ」シラバス

学科	普通科	学年	2年	類型	I・II・III	組	1～4組	単位数	2
使用教科書	Vision Quest English Logic and Expression II Ace（啓林館）								
副教材等	Vision Quest 論理・表現Ⅱ Ace WORKBOOK（啓林館）								
	Vision Quest 総合英語 3rd Edition（啓林館）								
	Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition（桐原書店）								

1 学習の到達目標

① 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え・気持ちなどを伝えたり、聞いたり読んだりしたことについて、様々な言語活動を通して、意見や主張、課題の解決などを論理的に話して伝えることができる。
② 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え・気持ち、意見・主張などを論理的に書いて伝えることができる。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と100点法の評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を更に深め、実際のコミュニケーションにおいて、場面や状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けているか。	(5)(6)(7)(8)(9) (10)(11)(12)
思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で話し手や書き手の意図や考えを的確に理解したり、自分の考えや気持ちをまとめ、積極的に伝えたりしようとしているか。	(5)(6)(7)(8)(9) (10)(11)(12)
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	(1)(2)(3)(4)(5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)ペアワークやグループワークへの参加状況 (2)教師の質問に対する応答	
課題などの提出状況	(3)週末や長期休業中に指示する課題 (4)日々のプリント	
言語活動の観察	(5)スモールトーク等の会話 (6)プレゼンテーション (7)ライティング活動	
インタビューテスト	(8)口頭テスト (9)音読テスト	
ペーパーテスト	(10)定期考査 (11)長期休業後の確認テスト (12)小テスト	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	Lesson 1 : 主語の選択、文と文をつなぐ Lesson 2 : 適切な動詞を用いる、パラグラフの基本構成／ 列挙・順序 Build up 1 : 名詞と冠詞 Activity 1 : インタビュー Lesson 3 : 時を表す、例示・追加 Lesson 4 : 義務・必要・推量、 比較・対照 Build up 2 : 主語と動詞の 呼応・時制の一致 Activity 2 : 交渉	- 主語になる語を見極め、適切な英文を作ることができる。 - 内容につながりを持たせた英文を作ることができる。 - 自動詞と他動詞を使い分け、群動詞を正しく使って相手に簡単なインタビューをすることができる。 - 段落構成を理解し、まとまりのある英文を作ることができる。 - 基本的な単数名詞・複数名詞、冠詞の使い分けができる。 - 現在形・過去形・未来形・完了形、進行形を使い分けたり、より具体性のあるパラグラフを作ることができる。 - 様々な助動詞等を使って、自分の気持ちを述べたり、助言をして、相手と簡単な交渉ができる。 - 対照的な内容を含むパラグラフを作ることができる。 - 主語と動詞のつながりや時制の一致に注意して英文を作ることができる。	(7)(9) (7)(8) (9) (6)(7)
二 学 期	Lesson 5 : 情報を加える(1)、 原因・理由・結果 Lesson 6 : 情報を加える(2)、 主張や理由の根拠 Build up 3 : 英語の情報構造 Activity 3 : 事実と意見 Lesson 7 : 情報を加える(3)、 リーディングの要約 Lesson 8 : 情報を伝える、 リスニングの要約 Build up : 前置詞 Activity 4 : 妥協 Lesson 9 : 条件と仮定、 スピーチ Lesson 10 : 数量を表す、プ レゼンテーション Build up 5 : ポライトネス Activity 5 : リサーチ	- 形容詞・分詞・前置句、不定詞(形容詞用法)を使って詳細な英文を作ることができる。 - 理由を説明したり、物事の因果関係を述べることができる。 - 関係詞を使って、文の内容をより明確にしたり、説得力のあるパラグラフを作ることができる。 - 英文の構成を理解し、意見や考えを明確にして簡単なプレゼンテーションを行うことができる。 - 不定詞(副詞用法)、副詞(句、節)、分詞構文を使って英文をより具体的にすることができる。 - 分量の少ないパラグラフを要約できる。 - 話し手の内容を把握して、人の発言を言い換えて伝えたり、そのまま伝えることができる。 - 前置詞を正しく使い分けることができる。 - ディベートの基本を理解し、簡単なディベートを行うことができる。 - 条件法や仮定法を使って、簡単なスピーチを行うことができる。 - 割合・数量の変化を表す表現を使って、簡単なプレゼンテーションやリサーチを行うことができる。 - 場に応じて、丁寧な表現を使い分けることができる。	(7)(9) (6)(8) (7)(9) (6)(8) (6)(8) (6)(8)
三 学 期	Lesson 11 : 比較を表す、 ディベート Lesson 12 : 否定、ディスカ ッション Build up 6 : コミュニケーシ ョンのためのストラテジー Activity 6 : 企画	- 様々な比較表現を使い、相関関係のある英文を作ったり、論理性を持たせて、ディベートを行うことができる。 - 様々な否定表現を学び、英語独特の表現に慣れる。 - 主張・意見や理由を客観的に裏付けてディスカッションができる。 - 会話の手法を理解して、円滑にコミュニケーションを取ることができる。 - これまでの学習内容を総括して、物事の企画に関するプレゼンテーションを行うことができる。	(7)(8) (8)(9) (6)(7)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(10)(11)(12)については、全ての単元において評価項目として用いる。